

追跡

— あの質問のゆくえ —

出産や育児における雇用対策は

今般の厳しい雇用環境では、出産や育児で難しい状況が出てくると思います。行政として何らかの対応策を考えているのか伺います。

平成20年12月定例議会

町長答弁

町全体で総合的に取り組んでいく

やまがた子育て応援パスポート制度の推進や、育児休業制度の周知や啓発の広報などを商工会やハローワークと連携して行っています。厳しい経済情勢下ですが、安心して子育てと仕事が両立できるよう、そして次世代の子どもたちのために産業振興も含めて、町全体で総合的に取り組んでいきます。

どうなった



このパスポート制度は、ゆうーる加盟店など83店が協賛店として登録、カードの交付は1,500枚を超え、実際の利用も増えています。また、子育て中の短時間勤務制度の義務化や、仕事と子育てを両立できる雇用環境の整備などの法改定が行なわれ、関係機関と連携し、周知・啓発を徹底します。さらに、既存企業への支援や新規立地も視野に入れ、総合的に産業の振興、雇用の安定に取り組めます。

がんばっています



シリーズ6 船山 隼人さん

Q 就農した動機と時期

A 2007年に大学を卒業と同時に就農、家業である農業に色々な可能性があるのではないかと思ったから。

Q 就農して感じたこと

A 自分自身の明確な目標を持っていないと続かず、1日24時間という時間を有効に使うことが難しいこと。

Q 将来の夢

A 家族、地域ともに幸せになれるような経営をすること、まずは自分の幸せを（笑）



発行責任者・議長	船山 仁
広報委員	
委員長	青木 彰 榮
副委員長・編集長	佐藤 京 一
委員	佐竹 典 明
委員	守谷 丹 吾
委員	菅原 隆 男
印刷・長谷川印刷	

今年の夏は、「猛暑」の一言でしたが、9月4日に39.9度が、京都府で観測されたことには驚きました。熱中症対策に関する報道が続きましたが、将来の気候がどうなっていくのか、心配されるところです。今年の決算議会は、町長が不在という中で行われましたが、説明の最高責任者としては必要だと感じました。このようなことが無いように期待します。国政においては、民主党の代表選挙が行われ、菅直人代表が、続投になりました。内閣人事で、鹿野道彦農林水産大臣が誕生したことで、日本の農業政策をどう行っていくのか大いに期待したいと思っています。

なお、この度の議会では、町長選挙や議員辞職などにより発行が遅れました事をおわびいたします。

(守谷)

編集後記

